

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団員連絡体制充実事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	笠原 圭史				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	消防団員	意図	建物火災等の災害において、各消防団が速やかに出動できるようにする。
事業内容	消防団の連絡先一覧表を作成し、建物火災等の災害時において、速やかに出動要請を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	以前は、固定電話であったため、消防団員が自宅に不在の場合、連絡を取るのに遅れ、結果的に出動要請も遅れるということもあったが、近年、携帯電話の普及により、連絡が速やかに取れるようになった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	建物火災件数	18	6	16	件	↓↓↓
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	緊急連絡網は、常に最新のデータ更新に努める。（消防団員の入れ替え時期において、速やかに一覧表の書き換え等を実施している。）		

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,506,000	1,373,000	1,342,400
事業費(b)(円)			
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)			
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	消防団緊急連絡先一覧表の充実を図る。	③取組の課題	一覧表の作成は、容易であるが体制の確保が出来ていない場合もあり、災害時の連絡に時間を要する。
②今年度(H29)に実施した取組	各分団毎に連絡の取りやすい体制を確保した一覧表を作成した。	④今後(H30以降)の改善計画	消防団の担当部署と協議し、実のある緊急連絡網を速やかに作成して、より実情にきいた情報管理に努める。